



喧嘩鴛鴦



★ 映画大団★

**喧嘩鴛鴦**

四十八人の美女達と密書を狙う暗殺  
団に追つかけて花の東海道に剣  
と恋の花咲かす痛快時代劇

市川雷蔵 春風すみれ  
阿井美千子 ミヤコ蝶々  
小町理美子 南都雄二  
江島みどり 大河内伝次

**忍術選手権試合**

封切時  
三田登喜子 浪花千栄子  
立花宮子 中村是好  
舟木洋一 大英村是好  
エントウツ子 船山汎三  
大原敬史 船山汎三  
大原敬史 船山汎三

25日 全封切

●新聞広告(昭和31年5月)



## 山根貞男のお楽しみセミナー

「喧嘩鴛鴦」は一九五六年の大傑作品で、市川雷蔵はデビュー三年目になり、スターとしての人気が一作ごとに高まりつつあった。

「花も嵐もふみこえて、行くが男の喧嘩旅！ 待つは女難と剣の林！」

この映画の惹句である。とほけた感で簡潔に内容を語った名文案といえよう。一九五六年といえば、戦後日本映画の黄金期だが、当時の映画会社にもこういう粋なコピーを書ける。惹句師がひとりはいた。

雷蔵の演じる若侍が旅の途中、つぎからつぎへ騒動のとはつらりを喰う巻き込まれ型下ラマ。虚賊三智子とのコ

ンビ。監督は田坂勝彦。惹句に「喧嘩旅」とあること。これらの要素からすると、「喧嘩鴛鴦」は同じ監督と主演コンビによる数か月前の「又四郎喧嘩旅」を念頭に企画されたにちがいないと思われる。封切りは前者が五月、後者が一月である。

当時の宣伝チラシによれば、この映画における雷蔵のバラリと前髪が何本か垂れた髪型は、「又四郎喧嘩旅」で大評判になったものだといふ。名づけて「雷蔵みだし」。

この映画では、嵯峨三智子がきりりとした若菜姿と灼爛たる姫君姿を見せるが、大河内傳次郎のコメディ・リリ

ーフぶりも楽しめる。どんぐり眼にDJョウ型の三枚目は剣豪スターのイメージから煙退いが、大河内傳次郎は戦前、国定忠次や丹下左膳の役で喝采を博したところから喜劇も演じていた。市川雷蔵とは、残念ながらこれが唯一とっていい共演作になった。

脚本は小園英雄。戦前から明治時代劇、道中ものを得意とするベテラン脚本家で、あるいはこの「喧嘩鴛鴦」は何がのリメイクかもしれない。

市川雷蔵はこのあと八月に「弥次喜多道中」があるように、明治時代劇路線が本格的に始まる。それとも関係するののか、宣伝チラシによれば、「喧嘩鴛鴦」の世原ツツ子の主題歌レコードには、雷蔵の台詞が入る予定となっているが、実際はどうなのか。



◎本商品に保存用紙から前巻の状態で製作しておりますが、映画公開時より長い年月を経ておりますので、一部劣化にはお見苦しい場面もございます。あしからずご了承ください。

### ■キャスト

- |          |      |           |      |
|----------|------|-----------|------|
| 製作 松竹 八郎 | 市川雷蔵 | 製作 松竹 八郎  | 田坂勝彦 |
| 脚本 小園英雄  | 山根貞男 | 監督 田坂勝彦   | 山根貞男 |
| 演出 山根貞男  | 山根貞男 | 撮影 山根貞男   | 山根貞男 |
| 音楽 長瀬義朗  | 長瀬義朗 | 美術 山根貞男   | 山根貞男 |
| 編集 山根貞男  | 山根貞男 | 録音 山根貞男   | 山根貞男 |
| 効果 山根貞男  | 山根貞男 | 装飾 山根貞男   | 山根貞男 |
| 衣装 山根貞男  | 山根貞男 | 髪型 山根貞男   | 山根貞男 |
| メイク 山根貞男 | 山根貞男 | 特殊効果 山根貞男 | 山根貞男 |
| 技術 山根貞男  | 山根貞男 | 印刷 山根貞男   | 山根貞男 |
| 配分 山根貞男  | 山根貞男 | 宣伝 山根貞男   | 山根貞男 |

ND 05777  
昭和31年度作品  
配分・モノクロ